令和3年度 **学校だより** 第12号

おおやち

目指す児童像 **☆おおやちの子**☆おもいやる子
☆やるきのある子
☆ちからづよい子

令和4年1月14日

石巻市立大谷地小学校 ☎62-3129

心も体も元気な子供を育成するために **家族みんなで はやね・はやおき・あさごはんを実践しよう!** 「**9 時寝る運動!**」規則正しい生活習慣が心と体を育てる 寝る子はやっぱり育つ

3学期が始まりました

新年あけましておめでとうございます。1年間のまとめの時期、3学期の始まりです。1、2年生は 北校舎2階での生活が始まりました。新型コロナウィルス感染防止対策を継続し、学習や生活のルール を守って元気に過ごしてほしいと思います。

3学期始業式 校長式辞

あけましておめでとうございます。

学校は、今日から令和4年、そして、3学期がスタートします。

冬休み中は、家の人と過ごす時間が多く、楽しいことがたくさんあったと思います。

終業式にお話しましたが、お正月に、今年の目標を立てたでしょうか。その目標を達成するために、1年間努力していきましょう。

また、6年生にとっては、小学校最後の学期、1年生から5年生については、一つ上の学年に上がる準備の学期でもあります。進学、進級に向けての心構えをしっかりともって生活してほしいと思います。

さて、3学期のはじめに当たり、校長先生から一つ上の挨拶について、それから、120-1=0というお話をします。

先日、江上いずみさんという方のお話を聞く機会がありました。江上さんは、おもてなし学として、おもてなしやマナーについて大学で教えたり、全国各地でお話をしたりしています。テレビ番組にも出演されています。江上さんは、元は、日本航空JALで客室乗務員をしていました。客室乗務員は、飛行機の中で、お客さんが安全に気持ちよく過ごせるように、おもてなしをする人です。江上さんは、30年間客室乗務員を務めましたが、天皇陛下がアメリカに出掛けられるときの特別便でも仕事をしました。そのように、おもてなしのスペシャリストである江上さんは、おもてなしの心を表すときに大切なこととして、五つ挙げています。それは、「表情・態度・身だしなみ・言葉遣い・挨拶」の五つです。

特に、挨拶については、お辞儀の際に言葉を発してから礼をする「分離礼」を勧めています。「おはようございます」と言ってからお辞儀をすると、相手の目をしっかりと見ることができます。今はマスクをしていますが、耳の聞こえない人にとっては、口を見て何を言っているか分かるということにもなります。挨拶の立派な大谷地っこです。「おはようございます」や「ありがとうございます」と言った後でお辞儀をするというように、挨拶をレベルアップしていきましょう。

次に、120-1=0のお話です。120-1はいくらでしょう。119ですね。では、どうして120-1=0なのでしょう。これも、挨拶を例にして考えてみましょう。皆さんが毎日元気に挨拶をしていることで、大谷地っこは挨拶がすばらしいですね、と言われますが、もし一人でも挨拶をしっかりできなかったらどうでしょう。大谷地小学校の子は挨拶ができませんね、と言われてしまいます。120人のうち一人でも挨拶ができなかったり、態度が悪かったりすると、大谷地小学校は、よい学校とは言われなくなってしまいます。評判は0になってしまうのです。それが、120-1は119ではなく、0ということです。挨拶に限らず、表情・態度・身だしなみ・言葉遣いについても同じです。一人一人がしっかりと心掛け、よい印象をもってもらえるとよいですね。

おもてなしの心や礼儀については、3学期に茶道教室を行い、そこでも学びます。3年生以上の皆さんになりますが、楽しみにしていてください。

では、令和4年も元気に明る〈笑顔あふれる大谷地小学校となるように、全員で盛り上げていきましょう。